

# 門祖曰隆聖人物語

第17回



## 550

大阪府の南河内に加納という所があるんだ。小高い山を背にしたこの地一帯の村人は水不足に悩んでいたんだ。この地を訪ねられた門祖聖人が、村人たちのお願いに応えて祈願されると、きれいなお水が湧き出たんだ…。今回は加納の御霊水のお話。

## 加納の御霊水

南河内・加納の地へ

みんなは大覚大僧正というお方を知っているかな？ この大覚大僧正というお方は「南無当門勸請の列祖、日朗菩薩、日像菩薩、大覚大僧正」と、妙講一座に出てくるように、私たちに御題目のご信心を正しくお伝え下さったお方だよ。

この大覚大僧正のお墓が、大阪・南河内の富田林の付近にあるという言い伝えが古くからあったんだ。そこで門祖聖人は永享十一年（一四三九）五十五歳の時、大阪・南河内方面を訪ねられたんだ。

大覚大僧正のお墓を調べられた帰り道のこと。門祖聖人は、その土地（大阪府河南町加納）のお堂（薬師堂）で、偶然にも母方の叔父さんである斯波義盛公と出逢われたんだ。

この対面を門祖聖人は、お喜びになられたんだけど、叔父さんの三人の子供の一人が重い目の病気を患っていたんだ。そこで門祖聖人は、叔父さん一家をお教化し、御題目をお唱えして目が良くなるようにご祈願されたんだ。すると、すぐさま叔父さんの子供の目は治ってしまったんだ。

後に、目の治った少年は門祖聖人のお弟子（日浄上人）となり、大阪・堺の顕本寺の住職となったんだ。

門祖聖人と叔父さんの斯波義盛公が出逢われたお堂は、建て直され新たに法華堂となったんだ。これが現在の加納の法華寺の始まりなんだ。



村人が見守る中 湧き出る御霊水

## 湧き出る御霊水

門祖聖人によって義盛公の子供の目が治ったという出来事は、たちまち加納の村人たちに伝わったんだ。そしてこのウワサを



御霊水の水源地には門祖聖人のお像がまつられている

聞きつけた村人たちは、あわてて門祖聖人のもとにやってきて、村の水不足を訴え助けて欲しいとお願いされたんだ。この加納の地は、湧水が少なく、人が生活しにくい所だったんだ。村人たちは水を求めて、はるか遠くの川まで下って、水を汲みに行かなければならなかったんだ。

門祖聖人は村人のお願いを聞くと、多くの村人を集めて山の中腹に登ったんだ。そして、木の枝に御本尊をお掛けして御題目をお唱えされたんだ。その後、柳の枝を折り、その柳の枝先で山肌を突かされたんだ。するとそこから、不思議なことにもきれいな水が湧き出たんだ。この出来事に驚いた村人たちは大喜び、以来この村人全員が御題目のご信者となったんだよ。

山の中腹から湧き出たこの水を、竹筒の筧（竹や木を半分に割り水を流すもの）を継ぎ足し下まで降ろし、一カ所に溜め込んでそれを飲み水などに使ったんだ。そこで人々はこの水を「筧の御霊水」と呼んで門祖聖人のお徳を讃えられたんだね。

およそ六百年経った今でもこの御霊水は滾々と湧き出ているそうだよ。



霊水溜（れいすいだまり）  
山の中腹より筧をつたいここに溜まる